

～下記の研究を行います～

『脳転移患者へのナルデメジン開始前後の疼痛への影響』

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】 脳転移患者へのナルデメジン開始前後の疼痛への影響

【研究責任者】 野田 拓誠

【研究の目的】 脳転移患者におけるナルデメジンが疼痛へ及ぼす影響について検討する。

【研究の期間】 2017年6月から2018年4月

【研究の方法】 当院のデータのみを用いて行う後ろ向き観察研究

○対象となる患者様

2017年6月から2018年4月に京都医療センターで入院された患者様で、脳転移がありナルデメジン（スインプロイク®）が開始された患者様

○研究に用いる資料・情報の種類

- ① 患者基本情報：年齢、性別、併用薬剤、検査値等
- ② 疾患情報：転移の有無、がん種

【研究の資金源】

特にありません。

【利益相反】

臨床研究における利益相反(COI:Conflict of interest)とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではありませんが、利益相反については、当院の利益相反審査委員会で適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問合せ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

◎資料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し

出ください。その場合でも、患者さんの診療等に不利益が生じることはありませんのでご安心ください。

独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター 薬剤部
〒612-8555 京都府京都市伏見区深草向畑町 1-1
電話 (075) 641-9161 (代)
研究責任者 薬剤部 薬剤師 野田 拓誠